

平成29年度第1回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日 時 平成29年4月28日（金）14時00分～15時45分

場 所 事務局棟5階大会議室

出席者 泉、伊藤、岡部、塩田、杉田、野田
石井、丹沢、木村、東郷、堀川、寺村、鈴木の各委員

欠席者 大石、川勝、晝馬、本橋の各委員

陪席者 鈴木、村松の各監事、木村、宮原の各学長補佐

議事に先立ち、議長から、新役員等の紹介があり、引き続き、議長から、学長就任に伴う所信表明があった。

I 前回議事録の承認について

平成28年度第10回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 報告事項

1 平成28年度の静岡大学の主な取り組みについて

議長から、平成28年度の静岡大学の主な取り組みについて、資料1により報告あった。

（学外委員から出された主な意見）

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：情報発信についてウェブサイトで紹介しているが、受験生の親は新聞やテレビから情報を得ていると思うので、マスコミへのPRに力を入れてほしい。また、教員の活躍はよく観るが学生の活躍を観ることは少ないと思うので、学生の活躍をPRしてほしい。

△：記者と情報交換する機会があるので学生の活動についても積極的に紹介していくこととしたい。

2 平成28年度に経営協議会学外委員から出された意見等への対応について

議長から、平成28年度に経営協議会学外委員から出された意見等への対応について、資料2により報告があった。

3 平成29年度入学試験実施状況について

丹沢委員から、平成29年度入学試験実施状況について、資料3により報告があった。

4 平成28年度監事業務監査実施結果について

鈴木監事から、平成28年度監事業務監査実施結果について、資料4により報告があった。

(学外委員から出された主な意見)

[⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

⊕：昨年度の学長選考の過程で教員の教育研究の時間が減少しているとの意見があり、業務の効率化による教育研究時間の確保は全国的問題であるので改善してほしい。

△：ワークライフバランスは事務系に捉えがちだが、教員も研究資金確保のための資料作成の時間が増加していることも一因であるので、これらの改善策を含め検討する必要がある。

△：教員と職員の連携の在り方を含め、業務の効率化に向けた教職員からの提案も期待したい。

⊕：働き方改革では勤務時間管理をしっかりと行い長時間労働を是正する方針であり、この風潮に絡めて検討することが考えられる。

△：学部によっては教授会資料の紙の配布をやめた。業務の効率化について事務協議会等で検討したい。

⊕：派遣留学生、派遣教員が海外留学しやすい環境の整備について事例が集まったら教えてほしい。

△：留学しない理由の上位3つが、資金的、英語力、留年の問題であるので、留年しなくても留学できる方法を検討したい。

△：文部科学省の留学生就職促進プログラムに採択された。

5 国立大学法人静岡大学学長選考会議学内委員の選出について

議長から、国立大学法人静岡大学学長選考会議学内委員の選出について、資料5により報告があった。

(学外委員から出された主な意見)

[⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

⊕：学長又は理事を学長選考会議の委員に加えることができるが、本学は入れていないのはどのような理由か。

△：学長又は理事を委員に加えることができるのは、学長選考会議の定めによるため、加えるか否かについては今後の学長選考会議の判断となる。

Ⅲ その他

1 静岡大学関連記事

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

なお、議長から、平成29年4月1日付けで伊東幸宏前学長を特任教授として雇用し、平成29年4月12日付けで顧問に就任し、学長時代に培った対外的人脈を大学として引継ぎ、また、本学として力を入れている情報分野が専門であるのでご尽力いただきたい旨、説明があった。

2 静岡大学超領域研究推進本部ニュースレター

木村委員から、静岡大学超領域研究推進本部ニュースレターについて、紹介があった。

以 上